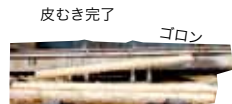


製材所見学ツアー

木の匂いが辺りに充満し、機械は威勢のいい音を轟かせて、製材所では今日も木が製材され、新しい製品として生まれ変わっています。木はどんなふうに製材されていくのでしょうか？ 見学ツアーの始まりです。

+ 行程① 皮をむく

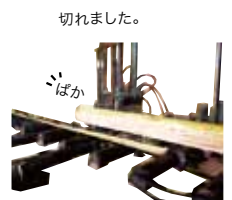
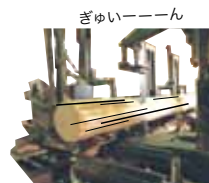
まずは樹皮をむきます。丸太が機械に乗せられ、高速回転！シャーっと皮がむかれていきます。



むいた皮はバイオマスボイラーの燃料に。近くの温泉施設に運ばれて、温泉水を暖めています。

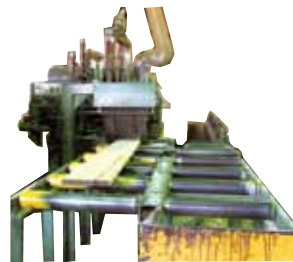
+ 行程② 製材する

帯鋸、丸鋸、刃がたくさんついたもの…目的に合わせた機械を使い、いろいろな幅、厚さ、長さ製材します。



無駄なくきれいな材面を出すには、第一刀をどこにいれるかにかかっている！一人前のオペレーターになるには相当な木の知識と経験が必要なんだとか。

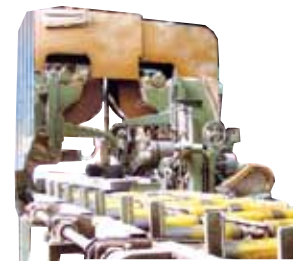
他にもたくさんの製材機械があります。その一部をご紹介します！



こちらギャンソー。一枚の板からいっぺんにたくさんの棒状のものができる優れもの。



ローラーテーブルは、作業員二人で仲良く作業します。



用途いろいろ、ツイン帯鋸オートテーブルはその名の通り、帯鋸が2つ付いています。

+ 行程③ 乾燥する

乾燥機を使った人工乾燥、自然に乾かす天然乾燥で木材の含水率を低下させます。



製材してできたいろいろな木材。乾燥しないと製品として使用された後に、割れやくるいが出てしまいます。



人工乾燥

人工乾燥では高温乾燥や中低温乾燥などの方法があります。どの方法で乾燥するかは製品によって異なります。

天然乾燥



天然乾燥は屋外に一定期間積積みしておくことで、含水率を下げます。

+ 行程④ 修正引きをする

木材は乾燥すると多少細くなるので、製品の寸法を整え、製品化します。

+ 行程⑤ 仕上げ加工をする

モルダーという機械を使って、表面を削り、なめらかにします。



修正引き後、もう少し表面をなめらかにしたい！



そんな時はコレ！モルダー！！

じゃじゃ〜ん



モルダーに木材をいれると…



1回で4面ともツルツルになって出てきました〜

びかーっ

+ 行程⑥ 超仕上げ加工

注文によって、表面をさらにキレイにツルツルにして、大工さんが鉋をかけたのと同じような状態にします。